

令和5年度 平井小学校長だより

ねれかて

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

豊田市立平井小学校

校長だより

令和6年3月6日

子どもたちの学びや生活の様子を伝えます

6年生を送る会 が行われました

6年生の児童にとって、一つ一つの行事が平井小学校での最後の行事となります。

27日（火）には、1年生から5年生の児童が中心となり、6年生を送る会が行なわれました。廊下や体育館の看板の飾りつけや招待状、6年生とのお楽しみタイム、ありがとうタイム、クイズや校歌の合唱タイムなど、様々な形で在校生全員が力を合わせて卒業を迎える6年生のためにこれまでの感謝の気持ちを伝えることができました。

6年生を送る会で活躍した5年生が、来年度は6年生の伝統を引き継いで平井小学校がみんなで幸せになれる学校になるように努めてくれると思います。

先輩 ありがとうございました



給食で提供された「赤とんぼ米」の取材を受けました



豊田市では、市内の小・中学校に通う児童・生徒や市内こども園等の園児たちに、環境に配慮した農業や地産地食の取組について知ってもらうため、市内の米農家が生産した特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」を学校給食で初めて提供しました。2月22日の提供初日には、平井小学校で、あいち豊田農業協同組合による「赤とんぼ米」誕生の経緯や生産者の思いを伝える講演と、東部給食センターの栄養教諭による「赤とんぼ米」の知識を深める授業が行われました。本校の6年生児童も、環境に配慮して作られたお米のおいしさを実感していました。

「赤とんぼ米」とは

農薬の成分数や化学肥料の窒素成分量を半分以下まで減らした特別栽培米で、あいち豊田農業協同組合が栽培の指導や出荷を行っています。農薬により減ってしまったといわれる赤とんぼの復活を目指してその名が付けられました。

赤とんぼ米について説明する
栄養教諭の岡野文香先生



給食をおいしそうに食べる児童



取材に丁寧に答える2名の児童



いつもの米よりもちもちして、ほんのり甘さがありおいしかったです。
環境を考えているところがおいしさの秘密なのでないかと感じました。

いつものごはんより甘くて特別に作られていることが分かりました。
お米を作っている人の気持ちが理解できました。

